はじめての
せかいの いじん

ガリレオ・ガリレイ



1 ガリレオは
ちいさいころから
「どうして こうなるのかな?」と
いろいろなことに
きょうみを
もっていました。



2 おとなになると、
じぶんで ためしたり、
よく かんさつしたりして
たくさんのことを
しらべました。



3 あるひ、ガリレオは
ぼうえんきょうを つかって
よぞらを かんさつしました。
すると……。



4 つきには でこぼこがあり、
もくせいの まわりには
ちいさな ほしが あることを
みつけました。



5 ガリレオは かんさつを つづけ、
ちきゅうも ほかの ほしと
おなじように うごいていると
かんがえました。



6 ガリレオは
「じぶんの めで みて、たしかめる」
ことを たいせつにし、
かがくの はってんに
おおきく こうけん
しました。

ガリレオの すごいところ!

よく かんさつしたよ!
まわりの ようすを
よく みて、
ちゅうい していたよ。



「どうして?」を
たいせつにしたよ!
「なんで こうなるのかな?」を
ずっと たいせつにして、
しらべていたよ。



じぶんで
たしかめたよ!
ほんや おしえではなく、
じぶんの めで みて、
ためして たしかめたよ。



きみも かんがえてみよう!

きみが じぶんで たしかめてみたいことは なに?